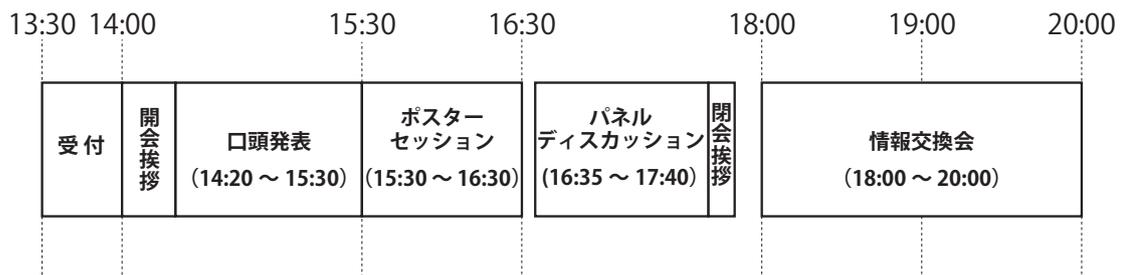


神奈川CSTプラン 第4回シンポジウム

理科教員養成の新展開  
「CST－大学教員－教育委員会の連携による  
地域の理科教育の向上の可能性を探る」

日時 2015年3月14日(土) 14:00～17:45 (受付開始13:30)  
シンポジウム後に情報交換会 18:00～20:00

会場 横浜市技能文化会館2階ホール(神奈川県横浜市中区万代町2丁目4番地7)  
(JR根岸線「関内駅」徒歩5分、  
横浜市営地下鉄ブルーライン「伊勢佐木長者町駅」2番出口徒歩3分)  
会場案内 <http://gibun.jp/access.html>  
(情報交換会 会場：横浜伊勢佐木町ワシントンホテル2階 アクアマリン)



プログラム

13:30～14:00 受付

14:00～14:20 開会挨拶

高木 まさき (横浜国立大学教育人間科学部長)

塚田 庸子 (神奈川CST協会会長、元川崎市立東小倉小学校長)

趣旨説明(神奈川CSTの現状と本シンポジウムについて)

津野 宏 (横浜国立大学教育人間科学部

附属高度理科教員養成センター副センター長)

14:20～15:30 口頭発表 CSTの交流・活動が生み出すもの

座長：河潟 俊吾（横浜国立大学教育人間科学部）

O-01 「理科が楽しい」「理科が好き」という仲間が増えるためにCSTとしてできること  
— 埼玉大学「全国のCSTから学ぼう」に参加して —

○高橋 健一郎（川崎市立西有馬小学校）

O-02 第3回理数系教員養成拠点構築プログラム成果報告会およびCSTの集いに参加して  
— CSTの自己研鑽、相互交流の場の必要性 —

○野原 博人（川崎市立南原小学校）

O-03 高知CST養成・活動事業の新展開

— 子どもと共に学校・地域の理科力アップ高知CSTプログラム —

○蒲生 啓司（高知大学教育学部）、吉岡 健一（高知大学総合教育センター）、中城 満（高知大学教育学部）、草場 実（高知大学教育学部）

O-04 神奈川CST協会の活動

01 神奈川CST協会の活動

— 事業報告と協会運営体制、今後の課題 —

○藤岡 一俊（横浜市立朝比奈小学校）、神奈川CST協会

02 神奈川CSTの特色ある事業

— CST宿泊研修会について —

○小峰 文泰（相模原市立弥栄小学校）、神奈川CST協会

03 宿泊研修報告

— CST情報交換会 —

○永嶋 裕一（横須賀市立豊島小学校）、神奈川CST協会

15:30～16:30 ポスター発表

A. CSTによる研究・実践

- P-01 子どもの「？」を引き出す事象提示  
— 問題解決の学習を目指して —  
○大橋 幸史朗（横須賀市立野比小学校）
- P-02 電磁石のはたらきがわかるものづくり  
○佃 直美（逗子市立久木小学校）
- P-03 タブレットを共有のツールとして用いたものあたため方における粒子モデルの導入  
○柿沼 宏充（埼玉県羽生市立須影小学校）
- P-04 生徒の活動を促す教材と考察  
— 実感を伴った科学概念を身につける —  
○長嶋 淳（伊勢原市立中沢中学校）
- P-05 ICTを活用した理科学習  
— スマートフォンやタブレットを利用した天体観測学習 —  
○佐久間 厚（大和市立大和小学校）
- P-06 科学的な概念のつながりを意識した授業づくり  
— 3年「電気の通り道」の学習を通して —  
○齋藤 照哉（川崎市立南河原小学校）、芳賀 淳一（川崎市立下布田小学校）、居相 剛（川崎市立日吉小学校）
- P-07 「山北町の自然調べ」について  
○山本 あゆみ（山北町立山北中学校）
- P-08 地域の環境を生かした理科学習の実践  
— 持続可能な社会作りをめざした理科教育 —  
○池田 真弓（横浜市立三保小学校）

## B. 中学校C S Tの活動

- P-09 中学校におけるC S Tの意義と役割  
— 教科担任制と小学校との連携 —  
○西垣 亮（小田原市立城北中学校）
- P-10 地域におけるC S Tの役割  
— 厚木市立六会中学校の取り組みから —  
○中川 櫛（厚木市立睦合中学校）
- P-11 中学校教師による小学校での授業  
— 小中連携教育について —  
○石川 弥生（小田原市立城山中学校）
- P-12 中学校教員による日常的な理科支援の効果  
— Saitama C S Tの実践例 —  
○井形 哲志（埼玉県上尾市立大石中学校）

## C. 小学校C S Tの活動

- P-13 理科教育改善への取り組み  
— C S Tとして取り組んでいる実践について —  
○石川 正明（横浜市立洋光台第一小学校）
- P-14 Science sence を磨き、active learning を作り出す指導の工夫  
○石川 由加里（川崎市立南菅小学校）、松井 端月（川崎市立西生田小学校）
- P-15 大月小学校でのC S Tの役割と活動  
— 理科好きの子ども・教師をめざして —  
○濱口 洋人（高知県大月町立大月小学校）
- P-16 理科実験安全指導  
— 危険への気づきで楽しく安全な理科実験 —  
○小笠原 利弘（川崎市立虹ヶ丘小学校）
- P-17 理科教育の充実と環境整備  
— 校内におけるC S Tの在り方について —  
○坂下 大輔（相模原市立星ヶ丘小学校）

- P-18 川崎少年少女発明クラブの活動報告  
— 子どものアイディアと技術を育む発明教室について —  
○阿部 一浩（川崎市立久地小学校）

D. 神奈川C S Tによる他府県で開催されたシンポジウムでの発表

- P-19 なぜ理科授業で実験をするのか  
○西田 俊章（横浜市立宮谷小学校）  
2014年12月13日 香川大学幸町北キャンパス  
「第2回香川C S Tシンポジウム 理科教育の充実に向けた教員養成・研修の新たな展開」  
における発表

- P-20 教師が見通しを持って理科学習に取り組むために  
— 5年生「振り子の運動」の授業づくりを通して —  
○芳賀 淳一（川崎市立下布田小学校）、居相 剛（川崎市立日吉小学校）  
2014年11月29日 福井大学文京キャンパス  
「第3回福井C S Tシンポジウム 科学を伝える」における発表

- P-21 C S T活動の発展的課題  
— 神奈川C S T協会設立と現状 —  
○野原 博人（川崎市立南原小学校、横浜国立大学大学院教育学研究科）、津野 宏（横浜国立大学教育人間科学部）、塚田 庸子（横浜国立大学大学院教育人間科学部附属高度理科教員養成センター）、藤岡 一俊（横浜市立朝比奈小学校）、上山 勝平（横浜市立西富岡小学校）、粕谷 香央里（横浜市立釜利谷西小学校）、高橋 健一郎（川崎市立西有馬小学校）、治部 加奈子（海老名市立杉本小学校）、小峰 文泰（相模原市立弥栄小学校）、永嶋 裕一（横須賀市立豊島小学校）  
2014年12月27日 大阪教育大学  
「第3回理数系教員養成拠点構築プログラム成果報告会およびC S Tの集い」における発表

- ・ポスター発表会場には学校図書、啓林館、大日本図書各社の展示ブース、ならびに神奈川C S T協会の受付もごございますので、併せてご覧ください。

16：35～17：40 パネルディスカッション

「CST - 大学教員 - 教育委員会の連携による地域の理科教育の向上の可能性を探る」

コーディネーター

森本 信也 氏 (横浜国立大学教育人間科学部 教授、日本理科教育学会長)

パネリスト

鈴木 康史 氏 (横浜市教育委員会指導部指導企画課指導主事)

上山 勝平 氏 (横浜市立西富岡小学校教諭)

津野 宏 氏 (横浜国立大学教育人間科学部  
附属高度理科教員養成センター副センター長)

17：40～17：45 閉会挨拶

山本 郁夫

(横浜国立大学教育人間科学部附属高度理科教員養成センター長)

18：00～20：00 情報交換会